



取扱説明書

本紙に記載された内容は製品や OS のバージョンによって変更される場合がございます。記載事項は正確を期すべく細心のチェックを行っていますが、内容の正確性については保証致しかねます。当社は予告なしに内容を変更する権利を有します。

また、本紙内には付属しない製品の画像や用語が記載される可能性がございますが、付属品については本紙やパッケージの付属品欄に記載がある物のみとなります。

他社登録商標・商標をはじめ、本紙に記載されている会社名、システム名、製品名は一般的に各社の登録商標または商標です。

安全上のご注意（必ずお守りください。）

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為必ずお守りいただくことを記載しております。

	危険	死亡または重傷を負う恐れが大きい内容です。
	警告	死亡または重傷を負う恐れがある内容です。
	注意	軽傷を負う事や物的損害が発生する恐れがある内容です。
		気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
		してはいけない「禁止」の内容です。
		必ず実行していただく「強制」の内容です。

免責事項

お客様または第三者がこの製品の誤使用や使用中に生じた故障、その他製品の不具合によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、予めご了承ください。

危険

- ⊘ ・ 本製品を火の中、電子レンジ等に入れたり、加熱したりしないでください。破裂や発火の原因となります。
- ⊘ ・ 本製品を直射日光の当たる場所や炎天下の車中、暖房器具の傍で使用、もしくは保管をしないでください。破裂や、発火の原因となります。
- ⊘ ・ 本製品の分解、改造を行わないでください。発熱、破裂、発火、火傷、感電の原因となります。また、分解、改造の痕跡がある場合、保証期間内でも交換、修理対応をお断りさせて頂く事があります。
- ⊘ ・ 各種端子をショートさせないでください。発熱、破裂、発火、火傷の原因となります。

警告

- ⊘ ・ 本製品に強い衝撃や圧力を与えないでください。与えてしまった場合は、すぐに取り外して全てのケーブル類を抜き、一旦使用をやめてください。そのまま使用を続けるとショートや発熱、感電等の原因となります。
- ⊘ ・ 本製品の使用中に煙が出たり、異臭、異音、異常な発熱をした場合は、すぐにケーブル類を取り外して使用をおやめください。そのまま使用を続けるとショートや発熱、感電等の原因となります。
- ⊘ ・ 水分や湿気の多い場所では本製品は使用しないでください。
- ⊘ ・ 液体に本製品を入れたり、濡らしたりしないでください。
- ⊘ ・ 濡れた手で本製品に触らないでください。
- ⊘ ・ 小さなお子様の手の届く場所に本製品を設置、または放置しないでください。
- ⊘ ・ プラグやコネクタやその周辺にほこりが付着した場合は、乾いた布で拭き取ってください。
- ⊘ ・ ケーブルに負荷をかけたり、無理な力で巻いたりしないでください。
- ⊘ ・ 製品やケーブルを加工したり、傷つけたりしないでください。
- ⚠ ・ 各種コネクタやケーブルは根元までしっかりと差し込んでください。
- ⚠ ・ 各種コネクタやケーブルを挿したまま持ち運ばないでください。

注意

- ⚠ ・ 静電気による破損を防ぐ為、本製品に触れる前に体の静電気を取り除いてください。本製品の破損、または接続機器のデータが消失する可能性があります。
- ⚠ ・ 動作環境内でご使用ください。機能低下、発熱等の原因となります。
- ⊘ ・ 以下のような場所で使用、設置をしないでください。感電や火災の原因となります。
 1. 強い磁界が発生するところ
 2. 火気の周辺や熱のこもるところ
 3. 漏電等を引き起こす、水や水場の周辺
- ⊘ ・ 有機溶剤で本製品を拭かないでください。
- ⊘ ・ 本製品を熱がこもる状態で使用しないでください。
- ⚠ ・ コネクタやケーブルは接続の方向を確認した上で差し込んでください。
- ⊘ ・ 使用中は熱を持ちます、低温火傷の原因となりますので長時間触れないでください。
※異常な発熱をした場合はすぐに使用をやめてください。

■ 健康に関する注意点

- ・ キーボードの使用により、身体的な障害が生じる可能性があります。
長時間のご使用は、手や腕、首や肩、腰への負担が大きくなります。
不快感・苦痛・鈍痛・痺れ・うずき・筋肉の硬直などの身体症状が生じた場合には、
直ちにキーボードの使用を中止してください。
また、定期的に休息をとるようにしてください。
なお、身体に感じる症状は、使用時・操作時以外でも発生します。
体調がよくないときは、長時間の操作をお控えくださいますようお願い致します。

■ 安全に関する注意点

- ・ キーボード本体の落下などにより思わぬ事故となる場合があります。
設置する場所は平らで滑らない場所をお選びください。
- ・ キーボードは精密機械であり、内部に変圧装置を含みます。
飲み物などの水分が内部に侵入しないようお取り扱いに十分ご注意下さい。
万が一、液体物が侵入した場合は、直ちにご使用を停止してください。
- ・ 分解、改造はしないで下さい。怪我や感電などの恐れがあります。
また保守用ラベルをはがすなど、分解や修理、改造の痕跡が見られた場合、
故障時の保証の対象外となります。
- ・ コネクタはぬれた手で抜き差ししないでください。また、加工したり、
無理に曲げたりしないでください。火災や感電の原因になります。

■ メカニカルキーボードの使用環境に関する注意点

- ・ CHERRY MX スイッチは、防水仕様ではありません。
飲み物などの水分が混入しますと、基板や IC の不具合を起こすだけでなく、
スイッチが破損し、使用できなくなる場合があります。
- ・ CHERRY MX スイッチは、防塵仕様ではありません。
内部にスイッチ接点があり、ゴミやホコリが混入・付着すると
入力誤動作（二重入力など）を起こします。
ブロアーなどを使用し、定期的な清掃を行うことを推奨致します。
- ・ 特に喫煙環境下でご使用頂きますと、タバコのヤニが接点に付着したり、
タバコの灰が混入し、スイッチが誤動作（二重入力など）を起こします。

■ パソコンに接続する際の注意点

- ・ USB2.0 もしくは USB1.1 ポートへの接続を推奨します。
USB3.0 ポートへ接続した際、PC 側の仕様により認識しない場合があります。
USB3.0 ポートのみ有する PC で使用する際は、UEFI/BIOS の設定変更が必要な場合があります。
変更方法は、各 PC メーカー・マザーボードメーカーにご確認ください。
- ・ USB ハブ経由で使用する際、電源供給能力により本製品が動作しない場合があります。
- ・ セットアップ作業を行う際は、管理者権限を持つユーザーでログインして下さい。
- ・ 本製品はホットプラグに対応しています。OS が起動した状態でも、着脱可能です。
- ・ OS の起動中に何度も抜き差しを繰り返すと、動作が不安定になる場合があります。
このような場合は、OS を再起動してください。

Vortex10 製品保証規定

■ 保証内容について

本保証書は製品が万が一故障した場合、ご購入頂いた日から保証期間内の保証を行うものです。
製品の初期不良はご購入日から1週間とし、初期不良と認められた場合は商品を交換致します。
保証期間内で初期不良と認められない場合は、製品を修理致します。
保証を受ける場合は、販売店発行の購入証明書(領収書、レシートなど)が必要となります。

■ 無償保証範囲について

無償修理の対象は、下記の条件に当てはまる場合に適応となります。

1. 販売店での購入日から1年以内であること
2. 購入日が確認できる販売店の購入証明書（レシート、領収書etc…）、
パーツや付属品のすべて（USBケーブルetc…）が揃っている
3. アーキサイトが輸入・販売した製品であることを証明できること。

※1 但し次の場合は保証対象外（有償修理）となりますので、ご注意をお願い致します。

- A) 個人で改造されたり不当な修理をされたことに起因する故障または損害
- B) 取り扱いの誤りによる故障の場合
- C) 天災地変等による故障、損害の場合

下記の場合には、保証対象外となります。

- 1) 保証書及び、販売店、購入年月日の確認ができる購入証明書がない場合は無効となります。
- 2) 保証書は日本国内のみで有効です。
- 3) 本製品の故障またはその使用上生じたお客様の直接、間接の損害につきましては、
当社はその責任を負いません。
- 4) 保証期間内でも次のような場合は有償での修理となります。
 - A) 通常の使用以外の操作で発生した場合の故障または損害
 - B) 飲みこぼしや食べこぼし、ホコリやごみの内部侵入などに起因する故障または損傷
 - C) 経年劣化などにより物理破損 や パーツ/部品の換装・付け替えで発生する物理破損
(キーキャップが割れた、外してなくした、キースイッチピン破損、ケーブル断線など)
 - C) 改造されたり不当な修理をされたことに起因する故障または損傷
 - D) お買い上げ後輸送されたことに起因する故障または損傷
 - E) 地震、風水害そのほか不測の事故による損傷
 - F) 販売店発行の購入証明書(領収書、レシートなど)を提示されない場合
 - G) オークションなどを含む中古販売品・個人売買品・未開封品の二次販売等で購入した場合

■ 修理について

- ・修理のご依頼は、弊社サポート窓口へ直接お問い合わせください
- ・修理をご依頼頂く際の送料はお客様のご負担となります。尚、弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いません。
- ・有償、無償にかかわらず修理により交換された旧部品または旧製品等は返却いたしません。

■ 免責事項

- ・本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行および不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
- ・本製品の故障に起因する派生的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償等につきましては、弊社は一切責任を負いません。

■ 保証規定に関する注意点

- ・本製品は購入国内での使用を前提に保証を規定しています。日本国内で販売店を通じて購入した場合は株式会社アーキサイト、海外販売代理店経由で購入した場合は各代理店の定める保証規定が適用されます。
- ・本書内に掲載している保証書は、日本国内でのみ有効です。

■ Warranty policy

Our service and warranty is only provided domestically in Japan

使用前の注意（必ずお読みください）

本製品は、英語配列キーボードです。

今までお使いのキーボードが日本語配列だった場合、OS 側のハードウェアキーボード設定が、“日本語（配列）キーボード” のままになっている可能性があります。キーボードの印字と入力される文字を一致させ、正しく入力するには、OS 側でキーボードの配列設定変更（ハードウェアキーボードレイアウトの変更）が必要です。

例） Shift+2@（テンキーではないほうの“2”キー）を入力した際、
「@」ではなく「”」が入力されてしまう
→OS 側のハードウェアキーボード設定が、“日本語（配列）キーボード” のまま

■Windows10 機器に繋いで使用する場合

（Windows10 OS の設定変更）

1. 左下の Windows マークをタップ（キーボードの Windows キーを押す）
もしくは画面の右端をスワイプしアクションセンターを立ち上げます。
設定のアイコン（歯車マーク）をタップし、Windows の設定を立ち上げます。
2. 「時刻と言語」をタップします。
3. 「地域と言語」をタップします。
4. 「言語」の「英語」をタップし、「オプション」をタップします。
5. 「ハードウェアキーボードレイアウト」の「レイアウトを変更する」をタップします。

【英語配列キーボードを接続してるが、日本語配列キーボードとして認識してる場合】

レイアウトの設定が「日本語キーボード（106/109 キーボード）」になっている場合は、
「英語キーボード（101/102 キーボード）」に変更し、サインアウトします。

パッケージ内容

- | | |
|---------------------------|-------|
| ・ キーボード本体 | … 1 台 |
| ・ USB ケーブル（USB-A ⇄ USB-C） | … 1 本 |
| ・ キースイッチ引き抜き工具 ※1 | … 1 個 |

※1 キーキャップを引き抜きに使うと、キーキャップに傷がつきます。
キーキャップの引き抜くためには、別途専用工具をご用意ください。

注意

ご使用の前に、内容物がすべて揃っているかを必ず確認してください。
なお、梱包には万全を期しておりますが、万が一不足品、破損品がありましたら、
すぐにお買い上げの販売店またはアーキサイトサポート窓口までご連絡ください。

Fn キーとの合わせ押し操作（初期モード / WindowsOS モード）

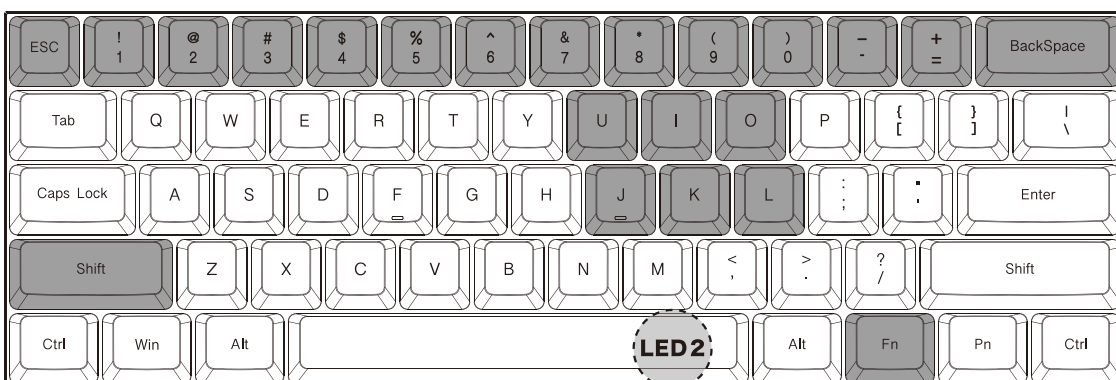


Fn + 1! = F1
 Fn + 2@ = F2
 Fn + 3# = F3
 Fn + 4\$ = F4
 Fn + 5% = F5
 Fn + 6^ = F6
 Fn + 7& = F7
 Fn + 8* = F8
 Fn + 9(= F9
 Fn + 0) = F10
 Fn + -_ = F11
 Fn + =+ = F12

Fn + Q = 前のトラックへ
 Fn + W = トラックの再生 / 一時停止
 Fn + E = 次のトラックへ
 Fn + A = ミュート（消音）
 Fn + S = 音量を下げる
 Fn + D = 音量を上げる
 Fn + I = ↑（上アロー）
 Fn + J = ←（左アロー）
 Fn + K = ↓（下アロー）
 Fn + L = →（右アロー）
 Fn + Y = 計算機アプリ

Fn + U = Page Up
 Fn + O = Page Down
 Fn + P = Print Screen
 Fn + {[= Scroll Lock
 Fn +]} = Pause/Break
 Fn + H = Home
 Fn + N = End
 Fn + ;: = Insert
 Fn + Z = App/Menu
 Fn + Backspace = Delete
 Fn + ESC = `（バッククオート）
 Fn + Shift + ESC = ~（チルダ）

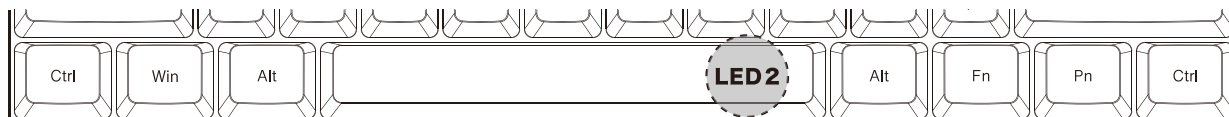
Fn キーとの合わせ押し操作（macOS ホットキー最適化モード）



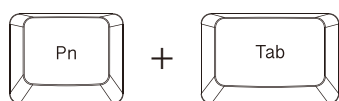
Fn + 1! = ディスプレイ輝度を下げる (F14)
 Fn + 2@ = ディスプレイ輝度を上げる (F15)
 Fn + 3# = Mission Control (Ctrl + ↑ [上矢印])
 Fn + 4\$ = Launch pad (Command + D)
 Fn + 5% = キーボードのLEDバックライト輝度を下げる
 Fn + 6^ = キーボードのLEDバックライト輝度を上げる
 Fn + 7& = 前のトラックへ
 Fn + 8* = トラックの再生 / 一時停止
 Fn + 9(= 次のトラックへ
 Fn + 0) = ミュート（消音）
 Fn + -_ = 音量を下げる
 Fn + =+ = 音量を上げる

Fn + I = ↑（上アロー）
 Fn + J = ←（左アロー）
 Fn + K = ↓（下アロー）
 Fn + L = →（右アロー）
 Fn + U = PageUp
 Fn + O = PageDown
 Fn + Backspace = Delete
 Fn + ESC = `（バッククオート）
 Fn + Shift + ESC = ~（チルダ）

特殊キー配列 および OS ホットキー / 修飾キー最適化モードへの切替操作



■特殊キー配列（レイアウト）の切替

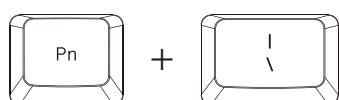


配列およびモード

- ①QWERTY 配列（初期状態） : 無点灯
- ②COLEMAK 配列 : 赤
- ③DVORAK 配列 : 緑

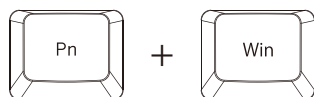
: LED2 の発光色

■OS ホットキー / 修飾キー最適化モードの切替



- ④WindowsOS モード : 無点灯
- ⑤LinuxOS モード : 黄
- (※左 Ctrl/CapsLock 入替)
- ⑥macOS モード : 白
- (※左 Win (Cmd) / 左 Alt(Option) 入替
- 右 Alt→右 Win(cmd) へ変更+ホットキー変更)

■Windows キーロック

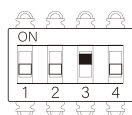


- ⑦Windows キーロック時 : 青

※レイアウトモードと OS モードが共に ON の場合、LED 色は混色になります。

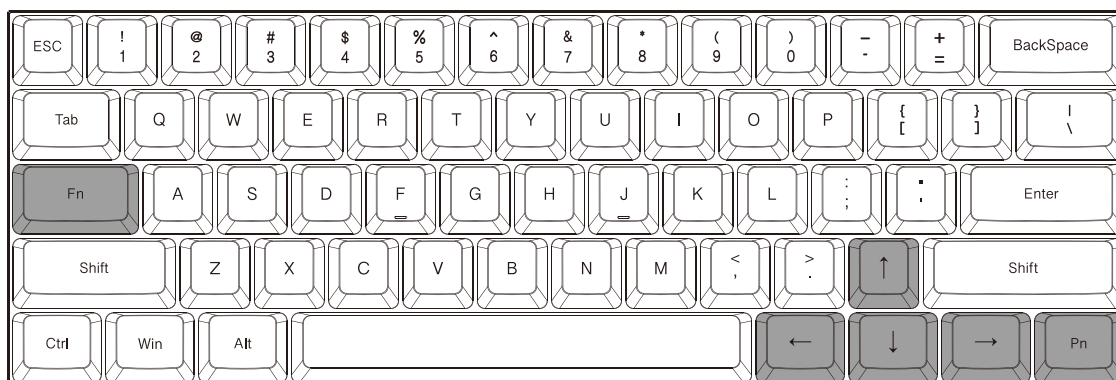
②+⑦=紫、 ②+⑤=オレンジ、 ③+⑦=青緑（シアン）、③+⑤=黄緑

DIP スイッチ 3 が ON の時の、キー配列とキー操作

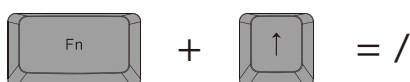


DIP スイッチ 3 が ON の時は、以下の配列になります。

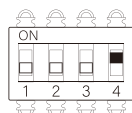
※DIP スイッチ 3 は、DIP スイッチ 1・2・4 より優先されます。



以下のキーの入力が合わせ押しになります。



DIP スイッチ 4 が ON の時の、Fn キーとの合わせ押し操作 (WindowsOS モード)



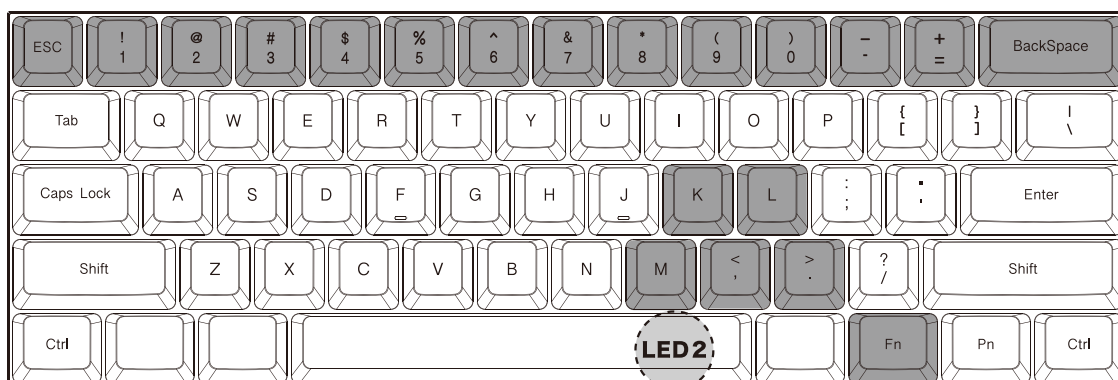
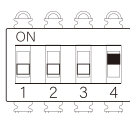
無点灯

Fn + 1! = F1
 Fn + 2@ = F2
 Fn + 3# = F3
 Fn + 4\$ = F4
 Fn + 5% = F5
 Fn + 6^ = F6
 Fn + 7& = F7
 Fn + 8* = F8
 Fn + 9(= F9
 Fn + 0) = F10
 Fn + - _ = F11
 Fn + = + = F12

Fn + Q = 前のトラックへ
 Fn + W = トラックの再生 / 一時停止
 Fn + E = 次のトラックへ
 Fn + R = ミュート (消音)
 Fn + T = 音量を下げる
 Fn + Y = 音量を上げる
 Fn + U = Print Screen
 Fn + I = Scroll Lock
 Fn + O = Pause/Break
 Fn + P = 計算機アプリ

Fn + J = Insert
 Fn + K = Home
 Fn + L = Page Up
 Fn + Z = App/Menu
 Fn + M = Delete
 Fn + , < = End
 Fn + . > = Page Down
 Fn + Backspace = Delete
 Fn + ESC = ` (バッククオート)
 Fn + Shift + ESC = ~ (チルダ)

DIP スイッチ 4 が ON の時の、Fn キーとの合わせ押し操作 (macOS ホットキー最適化モード)



白で点灯

Fn + 1! = ディスプレイ輝度を下げる (F14)
 Fn + 2@ = ディスプレイ輝度を上げる (F15)
 Fn + 3# = Mission Control (Ctrl + ↑ [上矢印])
 Fn + 4\$ = Launch pad (Command + D)
 Fn + 5% = キーボードのLEDバックライト輝度を下げる
 Fn + 6^ = キーボードのLEDバックライト輝度を上げる
 Fn + 7& = 前のトラックへ
 Fn + 8* = トラックの再生 / 一時停止
 Fn + 9(= 次のトラックへ
 Fn + 0) = ミュート (消音)
 Fn + - _ = 音量を下げる
 Fn + = + = 音量を上げる

Fn + K = Home
 Fn + M = Delete
 Fn + L = PageUp
 Fn + , < = End
 Fn + . > = PageDown
 Fn + Backspace = Delete
 Fn + ESC = ` (バッククオート)
 Fn + Shift + ESC = ~ (チルダ)

マクロプログラミングの設定方法

マクロプログラミングは、下記の手順で設定します。

ステップ 1： 設定するマクロプログラミングレイヤー を選択します。マクロプログラミングレイヤーは、背面の DIP スイッチ 1・2 の ON/OFF で切り替えできます。

初期レイヤー（DIP スイッチ 1・2 が両方 OFF）に、マクロプログラミングは、設定できません。レイヤー 1～3 選択時に、マクロプログラミングの設定が可能です。

●レイヤー 1 選択（DIP スイッチ 1 が ON）



●レイヤー 2 選択（DIP スイッチ 2 が ON）



●レイヤー 3 選択（DIP スイッチ 1・2 が両方 ON）



ステップ 2： Pn + 左 Ctrl を押してマクロプログラミングの編集を開始します。

→LED1 が白で点灯します。

ステップ 3： マクロプログラミングの設定をしたいキーを押します。

→LED1 が白で点滅します。

ステップ 4： マクロプログラミングしたい内容をタイピングし、最後に Pn を押します。

Pn を押すと、マクロプログラミングが設定されます。

→LED1 の点滅が止まり、白に点灯します。

ステップ 5： ステップ 3 と 4 を繰り返し、その他のキーにもマクロプログラミングを設定します。

Pn + 左 Ctrl を押し、マクロプログラミングの編集を終了します。

→LED1 が選択中レイヤーの点灯色に戻ります。

■マクロプログラミングの設定をされているキーに別のプログラムを設定する

ステップ 3-4 で、マクロプログラミングの設定をしたキーを 2 度押します。

LED1 が白で点滅しますので、ステップ 4 に進んでください。

■マクロプログラミングの設定をされているキーを元に戻す

ステップ 3-4 で、マクロプログラミングの設定をしたキーを 2 度押します。

LED1 は白で点滅しますので、Pn を押してマクロプログラミングを設定します。

Pn + 左 Ctrl を押し、マクロプログラミングの編集を終了します。

→LED1 が選択中レイヤーの点灯色に戻ります。

マクロプログラミングの設定方法 (続き)

■ マクロプログラミングの設定が出来ないキー

マクロプログラミングの設定時に必要な下記のキーへのマクロプログラミングの設定が出来ません。

- ・ Fn キー
- ・ Pn キーおよび Pn キーと同時押しするキー操作

■ 入力遅延の間隔を設定したマクロプログラミング

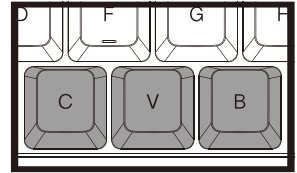
文字と文字の入力遅延の間隔の設定をしたい場合は、次の操作を行います。

遅延間隔を 15ms にしたい場合 … Fn + C

遅延間隔を 0.1s にしたい場合 … Fn + V

遅延間隔を 0.5s にしたい場合 … Fn + B

(※入力遅延の間隔を設定していない場合は、15ms 間隔になります。)



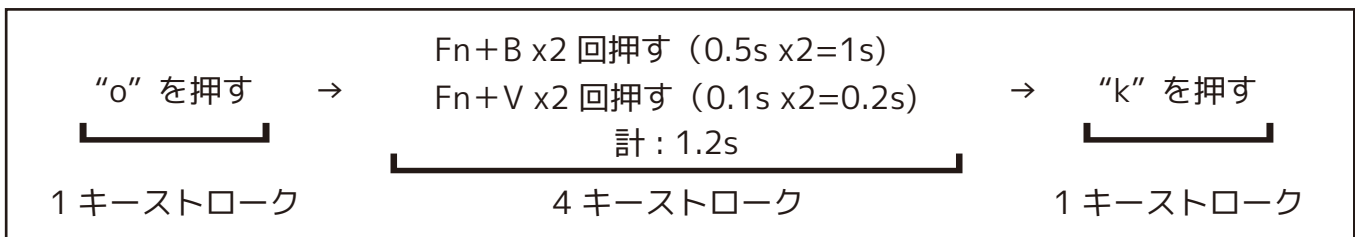
また、入力遅延の間隔をより細かく設定することもできます。

ただし、入力遅延の間隔を 1 回挿入するたびに、1 キーストロークとしてカウントされます。

各キーに対して、マクロプログラミング可能なキーストローク数の制限があります。

例) “o” と “k” の間に 1.2 秒の間隔を挿入する。

9 ページのステップ 4 の “マクロプログラミングしたい内容をタイピング” 時に、下記の操作を行います。



※マクロプログラミングの編集で、約 20 秒間キーが押されない場合、通常状態に戻ります。

■ Fn および Pn キーのリマップ (入れ替え) の設定方法

Fn および Pn キーと、選択したキーの位置をリマップ (入れ替え) できます。

リマップ (入れ替え) 後は、リマップ (入れ替え) 先・リマップ (入れ替え) 元の、

どちらのキー位置に対しても、マクロプログラミングの設定はできません

ステップ 1 : マクロプログラミングレイヤー を DIP スイッチ 1・2 で選択します。(9 ページ参照)

ステップ 2 : Fn の位置のリマップ (入れ替え) は、Fn + 左 Shift を長押し

Pn の位置のリマップ (入れ替え) は、Pn + 左 Shift を長押しします。

ステップ 3 : Fn キーが青、または Pn キーが黄緑で点灯します。

ステップ 4 : 入れ替えしたい位置のキーを押します。押したキーが、

Fn の入れ替え : 青 / Pn の入れ替え : 黄緑で点灯 → 数秒で消灯 → 設定完了です。

注意

1 : Fn キーや Pn キー位置を変更し、入れ替えた位置を忘れた場合、下記の手順で、現在の Fn キーおよび Pn キーの位置を確認できます。

1 : キーボードの USB ケーブルを一旦外します。

2 : USB ケーブルを接続します。接続すると、数秒間現在の Fn キーおよび Pn キー位置の

LED バックライトが数秒間点灯します。Fn キー → 青 / Pn キー → 黄緑

2 : Fn、Pn キーは、同じレイヤー内に 2 箇所以上設けることはできません。

マクロプログラミングの設定方法 (続き)

■選択中のレイヤーのリセット / 初期化

ステップ 1 : Pn + R を長押しします。

ステップ 2 : LED1 と LED2 が同時に、白で 3 回点滅 → 消灯します。レイヤーリセット完了です。

■すべてのレイヤーを初期状態に戻す

ステップ 1 : Fn + Pn + R を長押しします。

ステップ 2 : LED1 と LED2 が同時に、白で 5 回点滅 → 消灯します。

これですべてのレイヤーのリセット完了です。

ステップ 3 : 完全にリセットするため、キーボードに接続したケーブルを抜き、再度接続してください。

注意

レイヤーを初期化すると、マクロプログラミングの設定、Fn および Pn キーのリマップ (入れ替え) 設定、RGB カスタムモードのデータが全て失われます。

LED バックライトの操作



Pn + ESC = LED バックライト ON/OFF LED バックライトの ON/OFF が選択できます。

Pn + 1! = カラーパレット表示

各キーに、異なるカラーが表示されます。シングルキー点灯モード (Pn + 5%)、全キー点灯モード (Pn + 6^) およびカスタムカラーモードでキー色を選択できます。

Pn + 2@ = RGB カラー調節 (R 赤)

Pn + 3# = RGB カラー調節 (G 緑)

Pn + 4\$ = RGB カラー調節 (B 青)

RGB の明るさを、各 10 段階で調節します。キーを押すと 1 段階明るくなります。シングルキー点灯モードおよびカスタムカラーモードで LED 色を調節できます。

Pn + 5% = シングルキー点灯モード

シングルキー単位で点灯するモードです。"Single light fadeout", "Heartbeat", "water ripple" の 3 種の点灯パターンがあり、それぞれセルフ調色発光とランダム発光があり、6 種のパターンが選べます。セルフ調色発光を選択・調節時は、スペースキー下部の二か所の LED で調節した LED 色を確認できます。

Pn + 6^ = 全キー点灯モード

全キー単位で点灯するモードです。"Full-keys bright", "Breath", "Swirl", "Raindrops", "Waves" 5 つの点灯パターンが用意されています。

Pn + 7& = UnderGlow 同期 ON/OFF

UnderGlow (キーボード背面 LED 発光) をキースイッチ側の LED バックライト発光と同期させるかを選択できます。点灯モード 2 が ON になると、自動的に同期が ON になります。同期しない場合は、Pn + 7& で同期を OFF にできます。

Pn + 9(= カスタムカラーの編集 1

Pn + 0) = カスタムカラーの編集 2

各キーの色を設定します。各マクロプログラミングレイヤー (9 ページを参照) に、それぞれ 2 種類の点灯設定を保存できます。点灯パターンは設定できません。(設定方法は 12 ページを参照)

Pn + -_ = カスタムカラーモード 1

Pn + += = カスタムカラーモード 2

カスタムカラーの設定で保存した、点灯設定を呼び出すことができます。

Pn + I = LED 輝度 UP

Pn + K = LED 輝度 DOWN

10 段階調整 ※消灯状態では機能しません。

Pn + J = 発光スピード DOWN

Pn + L = 発光スピード UP

10 段階調整 ※消灯状態 / 発光パターン固定状態の場合は機能しません。

カスタムカラーの設定手順

LED バックライト機能は、通常の発光モードでの変更に加え、各キーを好みの色に設定し保存できます。各マクロプログラミングレイヤーに、それぞれ 2 種類の点灯設定が保存できます。

点灯パターンは設定できません。

ステップ 1： 背面の DIP スイッチ 1・2 の ON/OFF で設定したいマクロプログラミングレイヤーに、切り替えます。

●レイヤー 1 選択 (DIP スイッチ 1 が ON)



●レイヤー 2 選択 (DIP スイッチ 2 が ON)

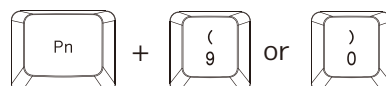


●レイヤー 3 選択 (DIP スイッチ 1・2 が両方 ON)



ステップ 2： Pn + 9(または Pn + 0) を押して、カスタムカラーの編集を開始します。

Pn + 9(= カスタムカラーの編集 1



Pn + 0) = カスタムカラーの編集 2

ステップ 3： Pn + 2@ (R 赤)、Pn + 3# (G 緑)、Pn + 4\$ (B 青) を押し、光らせたい色に調節するか、Pn + 1! を押し、カラーパレット表示させ、光らせたい色を選んでください。
※カスタムカラーの編集の状態で、キー入力はできません。

ステップ 4： ステップ 3 で選択した色を使い、光らせたいキーを押して選択します。一度押すと、ステップ 3 で調節・選択した色で光ります。色を変更したい場合、変更したいキーを押し、そのキーの LED が消灯状態・リセットするか、ステップ 3 の方法で再度、色を選択し、変更したいキーを押して設定します。

ステップ 5： カスタムカラーの編集を設定するには、Pn + 9(もしくは Pn + 0) を押します。
カスタムカラーの編集を設定すると、そのままカスタムカラーモードに戻ります。

ステップ 6： 再びカスタムカラーの編集で設定した内容で光らせたい (再生したい) 場合は、Pn + -_ または Pn + =+ を押しカスタムカラーモードを呼び出します。
カスタムカラーの編集 1 の点灯設定は、Pn + -_ (カスタムカラーモード 1) で
カスタムカラーの編集 2 の点灯設定は、Pn + =+ (カスタムカラーモード 2) で
呼び出すことができます。